

世界の大手アパレルブランドがベトナムに進出



バンコクやシンガポールといった主要なショッピングセンターが飽和状態になった今、ベトナムのアパレル小売り市場の非常に高い潜在力が、外国大手アパレルブランドから注目されている。



ベトナムのような新興市場には若い消費者が多く消費意欲が高いため、海外ブランドを好む傾向がある。有力欧州市場調査会社によれば、ベトナムのアパレル小売り市場は2013年-2019年期に年平均9.7%の成長を示し、2019年の規模は56億米ドルに達したと推定される（2019年-2023年期の年間伸び率は9.0%と予測）。

ドンコイ通りにあるユニクロ店

2019年12月初旬、日本のファッションブランドであるユニクロはホーチミン市に1号店をオープンしたが、当日は多くの人々が早朝から深夜までドンコイ通りにある店舗に押し寄せた。今年3月6日には、ベトナム2号店がハノイ市ドンダー区に開店した。

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社(CAM)が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料はCAMが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている特定の企業名や商品名等は当資料の理解を深めていただくために紹介したもので、個別の銘柄の推奨を目的とするものではなく、CAMの運用ファンドにその銘柄を組み入れることを保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

2019年12月には、世界19か国に1,400店のネットワークを持つオーストラリア最大のファッションブランドである Cotton : On もベトナム市場に正式参入した。



GAP や Topshop、Mango 等の中位ブランドもベトナムでの販売網を継続的に拡大している。

ベトナム市場に比較的早く参入したスペインの ZARA (2016 年) とスウェーデンの H&M (2017 年) は、ベトナムのファストファッション市場における 2 つの有名ブランドとなっている。H&M はベトナムの中心都市に 8 店舗を有し、店舗数は ZARA を上回る (ZARA ブランドはハノイ市とホーチミン市に 2 店舗)。H&M の年報によれば、同社のベトナム市場の売上高は 2018 年に約 2,800 万ドルに達し、前年比で 4 倍に急増した。

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は CAM が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている特定の企業名や商品名等は当資料の理解を深めていただくために紹介したもので、個別の銘柄の推奨を目的とするものではなく、CAM の運用ファンドにその銘柄を組み入れることを保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

国際的な大企業は絶えず拡大する一方、国内ブランドは競争のあおりを受け、縮小傾向にある。Ninomaxx や N&M、Blue Exchange、PT2000、VietThy といった人気ファッションチェーンですら店舗数を減らすなどビジネスモデルの変更を余儀なくされている。

VietTien、NhaBe、AnPhuoc、May10 等国内市場に足がかりがある一部のブランドも、オフィス製品セグメントに軸足を変えている。また、日本系ストライプインターナショナルは 2017 年と 2018 年にそれぞれ NEM、Elise というファッションブランドに出資したとの情報がある。

このような背景から、ベトナム企業は製品の多様化や事業再編など対応策を強いられ多大な圧力にさらされている。専門家は、ベトナム企業が今後も持続的に発展するには全面的に戦略を練り直す必要があるとしている。

【写真出所：JVRC】